

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	インド
案件名	マニプール州養蚕事業

I. 案件概要

(1) L/A承諾額	3,962百万円
(2) L/A調印日	1997年12月12日
(3) 実施機関	マニプール州養蚕局
(4) 事業概要	<p>養蚕が古くから行われているマニプール州において、養蚕の組織的かつ計画的な導入を行うことによって、繭・生糸生産の増加と雇用の創出を図り、もって貧困層の生活水準の向上に寄与する。</p>

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 課題・指摘の概要（事後モニタリングについては事後評価における指摘概要を記載）	<ul style="list-style-type: none"> ・繭・生糸の生産量や雇用創出が2012年の事業評価時には、当初目標の5-6割にとどまっていた。 ・農民の組織化や実施体制整備の遅れにより技術普及が進まなかったことが要因とされるが、その背景には、本事業実施中に治安が悪化し、事業監理コンサルタントの事務所で犠牲者を伴う銃撃事件が発生したことから退去を余儀なくされたことが大きく影響している。
(2) 対応結果/今後の対処方針/事業目標の達成見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・治安状況及び本事業の改善状況の確認のためにマニプール州の安全確認調査及び実施機関との協議を複数回に亘り実施した。 ・同調査の結果、州の治安情勢の変化も見受けられ、また、それも踏まえつつ、2013年度の繭・生糸生産量が計画比の81%に達したことを確認した。
(3) 教訓	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施中の治安悪化は予見困難であるが、事業形成時には、治安情報を十分に収集の上、実施可否を判断する必要がある。